聖パウロ学園同窓會會報

第5号

平成7年7月20日発行

―発行所―

聖パウロ学園内
同窓会事務局
〒525
草津市野路町178
☎0775-64-5600

第5回総会開催される

50余名が旧交暖める

平成七年度の同窓会総会は、さる六月十八日、瀬田アーバンホテルに一期生から本年卒業した五期生まで五十名近い人数を集めて行われた。

総会はまず押田名誉会長、内田会長の挨拶に続き、会計の平本絵里奈氏から平成六年度決算報告と七年度の予算案の説明が行われ、それぞれ原案通り承認された（六年度決算、七年度予算に関しては四面参照）。

会はその後懇親会に移り、山田理事長、初代校長の寺西先生の御挨拶に続き、三代校長の宇部先生の音頭により母校と同窓会の益々の発展を祈念して乾杯の後、休日にもかかわらずわざわざお越しいただいた、福本副校長、山川教頭のほか、安藤、押山、田中、西浦、松浦、松田、白石の各先生を囲んで、昼食を共にしながら懇親を深めた。

今こそ力を合わせて

母校のさらなる発展のために

会長　内田　和宏

同窓会の皆様には、益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

本年、同窓会は第五期の卒業生二百二十六名を迎え、会員数は一気に七百四十名余となりました。母校も創立八年目に入り、一つの節目となるでしょう十周年も目前に迫りました。記念事業の計画もあるように聞いております。また、海外研修制度の方も、ニュージーランドへのホームステイだけでなく、交換留学や聖地巡礼など、年ごとに充実してきていると言うことで、これは我々同窓会としましても非常に喜ばしいことです。しかし、その一方で、母校を取り巻く状況に、非常に厳しいものもある、ということもまた事実だと思います。同窓会は教育協力会や学校後援会と共に、母校を支え、発展させて行くための大切な組織です。したがって、こうした時期に当たりまして、今こそ先・後輩相携えまして、古きを尋ね、明日に思いを馳せ、母校の発展の歩みを確固たるものにするために共に力を尽くして行かねばならないとおもっております。

私ども役員は、昨年六月の総会で、西堀先輩をはじめとする前役員から業務を引き継ぎました。至らないところも多いと思いますが、今後とも会員の皆様のご協力を賜りたく、お願い申しあげます。

同窓生に期待するもの

名誉会長　押田　和男

同窓生の皆さんには、社会人として、又学生として夫々お元気で活躍されていることと存じます。

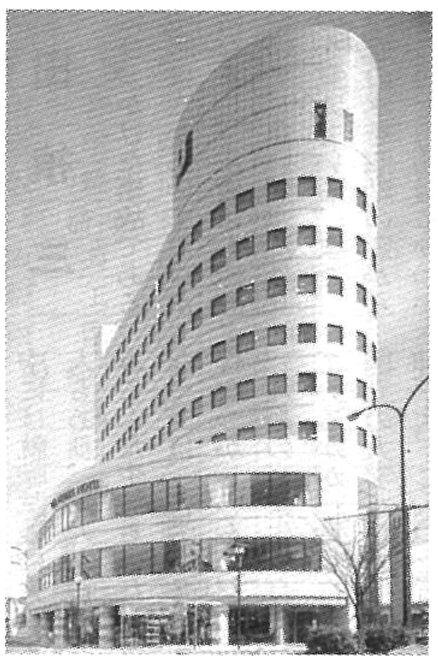
皆さんは数多い学校の中から特に本校を選んで入学され、中学・高校を通しての六年間、或は高校の三年間机を並べ共に学び卒業されたのであります。このことは皆さんの人生にとって大切な意味をもっていると思います。すなわち皆さんは神さまのお導きによって本校に入学され、そして今日があるということです。しかも最も多感な青春の時代であったはずです。特に高校三年間の生活は、皆さんの胸の中に深く刻み込まれていると思います。

このような皆さんを擁する同窓会はまだまだ歴史は浅く、それだけに今のうちに組織を強固なものにして活動を活発にする必要があり、そのことを現在と将来の本校生徒に強く印象づけて、頼りがいのある組織にしてほしいと思います。と同時にこれからも本校教職員や教育協力会の方々にもたのもしい存在であってほしいと思います。そのためには先ず、同窓会の組織である同期会が是非しっかり結束し、その期の同級会が横の連携を取りながらいつでも仲間の消息を把握して親睦を深めていくことが何より大切な条件であります。それには同級会、同期会の幹事が同窓会役員と連絡をとりながら、普段から人集めの努力をする奉仕が絶対必要です。勿論、皆さんは社会人として仕事に重い責任を負わされ、又学生として勉学に追われ時間的な余裕がなく、つい仲間から疎遠になりがちはよく理解できますが、先程述べたとおり何とかして同期の方々と交信を交わして普段から旧交を温めてほしいものです。

本校が最近になって大学等への合格者が急増し、十五歳年齢の減少期にもかかわらず、本校が進学校としての知名度が広がりつつあるのも、後輩達が先輩の皆さんの背を見て育ったからだと思います。

同窓生の皆さん、在校生は先輩のあなた方をじっと見守っています。いままで述べましたように先輩の影響は非常に大きいものがありますし、皆さん一人ひとりの人生にも、まず光泉高校卒のレッテルは生涯はなれることはないはずです。また母校は皆さんの心のよりどころでもあります。是非自分の人生を悔いのないものとする努力を惜しまないで下さい。そしていつまでも本校卒業生として母校を愛し、後輩をいつくしんでください。

最後に、同窓会の発展はその母校の発展でもあります。同窓会の基礎は同級会・同期会にあります。同級会・同期会の結束はその会員の友情に基がありますがそのリーダーになる人の奉仕と努力がなければ、散り散りになった仲間をまとめることはできません。同期の同級生が揃う同窓会へと発展することを心から願います。同窓会長はじめ役員の皆さんの一層の努力をお願いするとともに、会員の方々の協力を切におたのみいたします。



湖からの風が聞こえる。

ニュー・アーバン・ロケーション

SETA URBAN HOTEL

瀬田アーバンホテル

〒520-21　大津市大萱1丁目16-1（JR瀬田駅前）TEL(0775)43-6111㈹ FAX(0775)43-6002